

うりずんとは…「潤う」と水が土にしみとおる「染む」からなる言葉で、沖縄の若夏をあらわします。さわやかな南風が吹き、野山は緑にあふれます。うりずんのようにやさしい風に包まれて、ゆったりとした時間を過ごしていただきたいという思いから名付けられました。

うりずんの想い

私たちの住む地域のどこかで、
重い障がいを抱えた子どもたちと
24時間その子どもを介護している家族が暮らしています。
うりずんは、子どもたちが友だちと楽しく遊び、
両親は介護から離れひと休みできる場所です。
障がいを持った子どもと家族に
「普通」に暮らすことができる社会を目指しています。



地域の暮らしを支えるために

日本財団様&日本歯科医師会様の多大なご支援と、皆様のご尽力のお蔭で、新拠点のオープンから2年が経ちました。事業も増えましたが、新たな課題も見えてきました。今日は子どもの暮らしの現状と課題についてお伝えします。

《 おうちに帰る～退院支援の仕組み 》

病院には退院調整の部門ができ、お試し外泊時に訪問看護が使える制度も整い、退院前カンファレンスに来る訪問看護ステーション、調剤薬局、在宅医療を担う診療所、さらによく障害者相談支援専門員にも報酬の設定ができました。病院と地域で情報共有をしながら準備する仕組みも構築されました。しかし、在宅医療、訪問看護、日中預かりなどの地域での受け皿がまだまだ追いついていません。

《 働きたいお母さん 》

医療的ケア児のお母さんで、職場に復帰できる例が出てきました。うりずんでは、居宅訪問型保育で1名、児童発達支援＋日中一時支援の組み合わせで1名等です。この度、退院された人工呼吸器をつけた子どものお母さんが育児休業後の復帰を希望されていますが、人工呼吸器をつけた状態では、どの地域もチャレンジングな状況です。まだまだ、ですが、少しずつ。

《 きょうだい生まれる 》

人工呼吸器をつけた子どものお母さんが、次のお子さんを出産されることが少しずつですが増えてきていま

す。しかし、おめでたはいつそうなるかわかりません。例えば金曜日の夜に破水したとき、臨時の短期入所の受け入れは難しく、さらに誰がどう連れて行くのか、など課題は山積しています。人工呼吸器をつけた子どもをご厚意で病院に預かっていただき、無事にお母さんが出産できた事例もでてきましたが、特定の病院に負担がかかり過ぎない仕組みをどうすれば構築できるのか、と思います。地域で気軽に使える短期入所が欲しいこの頃です。

《 学校に行こう！ 》

医療的ケアが必要な子どもの学校生活にも少し変化が出てきました。特別支援学校に通学籍で通う人工呼吸器をつけた子どものお母さんは、ずっと教室に待機していただければならなかったのですが、お母さんが別室待機できる時間を1～2時間確保できるようになり、徐々に分離の方向となりました。また、宇都宮市で普通小学校に通う人工呼吸器をつけた子どもは、市が特別支援教育支援員（看護師資格あり）を派遣して親が滞在しなくても勉強できる仕組みができました（通信第24号）。

《 その後 》

医療的ケア児の暮らしの課題をひと言でいうと、「お母さん以外に子どもをみられる人がその地域にいない」ことです。お母さんの代わりにお世話ができる人を地域で増やしていくことが大切です。まだまだ、人材も資金も足りず、今後、学校卒業後に通う場所がない18歳問題、そして親亡きあとの自立問題については、まだ手つかずの状態です。

3年目の2018年度も、引き続き出来ることをやっていきます。今後ともよろしく願い申し上げます。

うりずんは、お蔭様で今年10周年
新うりずんに移り、2周年を迎えます
いつもご支援、ありがとうございます

認定特定非営利活動法人うりずん
理事長 高橋昭彦



2017 年度小児在宅医療体制構築事業を振り返って

2017 年度、小児在宅医療体制構築事業を栃木県より受託し、小児在宅医療を推進することを目的に、研修会等を開催しました。ここでその一部をご紹介します。

2018 年 2 月 18 日（日）自治医科大学に於いて小児在宅医療実技講習会を行いました。当日は小児の開業医 3 名、在宅医 11 名、病院勤務小児科医 26 名、医師以外の医療職（看護師、保健師、リハビリ職等）51 名の計 91 名の方にご参加いただきました。

自治医科大学医学部 小児科学教授 小坂仁様をはじめ、小児の医療技術の実際（呼吸・栄養・消化・嘔下・リハビリテーション）では、県内に於いて各分野でご活躍されている先生方の講義を聴講しました。



小坂仁様による講義

講習会の後半、実技演習（気管カニューレ交換や胃ろう交換等の実技）では、小児の気管カニューレや胃ろうの実物に触れていただき、シミュレーターを用いて手技の確認を行いました。演習内では、在宅医や小児の開業医、病院勤務医等様々なお立場の先生方が、積極的に意見交換したり質問をされたりする姿が印象的でした。



実技演習の様子

アンケートでは、「これまで医療的ケア児との関わりはあまりなかったが、今回の講習会で理解が深まり、在宅で関わる機会があれば役立てたい」、「講義も実技もあり、いい講習会で大変勉強になりました。同様のものを定期的に開催してほしい」などの意見を頂戴しました。

2018 年 3 月 4 日（日）県庁講堂に於いて、小児在宅医療に関わる多職種研修会を実施し、定員を超える 75 名（医師、



多職種研修会

病院看護師、訪問看護師、リハビリ職、相談支援専門員、保健師、保育士、介護士等）の方にご参加いただきました。

前半は、「小児在宅医療の現状と課題」と題した講演を当法人理事長高橋昭彦より、また「県東地区における『小児医療連携の会』の取り組み」と題し芳賀赤十字病院第一小児科部長 菊池豊様にご講演いただきました。後半の演習では、各圏域・多職種のグループに分かれ、呼吸器を使用した児が病院からお家へ帰る（退院支援）部分に焦点をあて、グループワークを行いました。病院側と地域側の支援者間の意見交換や、他職種との意見交換を通し、医療的ケア児の退院支援の実際と理解を深めるとともに、今後の多職種のつながりを生んだ機会となりました。



グループワークの様子

県内でも、医療的ケア児の数は増加傾向にあり、今後も分野横断的な取り組みが必要となります。今年度実施した全事業を通し、医療的ケア児の支援に関わる専門職や、興味を持ってくださっている専門職および市民の方がたくさんいることを実感しております。医療的ケア児の支援においては、知識や理解を深めるだけでなく、多分野、多職種のつながりや連携が必須となり、全国的にも、様々な取り組みや動きが出てきています。栃木県においても障がいのあるなし、医療的ケアのあるなしに関わらず、すべての子どもが住み慣れた地域で、自分達の望む形で過ごすことのできる地域社会を目指し、今後も継続した研修会や交流会の開催を行っていきたいと思います。（今泉あゆ美）

《2017 年度実施した事業》

小児在宅医療実技講習会

小児在宅医療に関わる多職種研修会

医師向け訪問診療同行研修

小児在宅医療に関わる医師等を対象とした相談支援事業

家族の情報交換会・交流会 「きょうだい支援（家族交流会および市民公開講座）」

うりずん日記

児童発達支援管理責任者 大森美樹

卒業・卒園の巻

旅 立ちの春です♪ 3月10日(土)、高等部を卒業された方の、放課後等デイサービスわらゆんの最終ご利用日に、お別れ会をしました。仲間たちから花束と色紙をプレゼント！みんなで歌を歌って卒業をお祝いしました。



▲うりずん理事長より卒園証書授与



卒業おめでとう

第2 回ははりゆん卒園式は3月16日(金)。2年間の成長に感動と感激！保護者の皆様もスタッフも涙があふれました。卒園されたのは、はりゆん開所当初より通所されていたこの春入学の4名とこの春より地域の幼稚園に通う1名です。式の後、事務局の三谷とボランティアの矢古宇礼子様のご協力を得て、手作り料理でのアットホームな会食会が行われました。



うりずんのお友達よりお祝いの色紙と花束



手作り料理で楽しい会食



▲お別れ遠足：宇都宮動物園

楽 しい思い出を卒園前にもう一つ♪ ということで、3月19日(月)、はりゆんを卒業する4名とこの日ご利用日だったお友達で、宇都宮動物園へお別れ遠足にお出かけしました。きりんや象に、こわごわエサをあげたり、うさぎに触れたり、たくさんの笑顔を見ることができました。



わんわんショーにも出演!!

きりんさん、大きくて怖いよ～

うりずんの仲間たち

ご家族に伺いました♪

ニックネーム：山中 悠さん (はるくん)
学年・年齢：5歳
好きなこと：おいしいニオイをかぐ(揚げ物、スイーツ大好き) お風呂に入る(湯舟に入ってまったり…)



嫌いなこと：暑いこと
うりずんでんなどころ? :
発作があったり、呼吸が苦しくなったり…楽しく過ごすことができなくても、どんな状態でも全て受け入れてくれるところ

メッセージ：
うりずんのない生活は、もう考えられません!! 寝ていることも多いはるかですが、これからもよろしくお祈りします。

名前：篠原馨子さん (かおるこさん、るっちゃん)
学年・年齢：中学3年生
好きなこと：
数独(パズル)、ドライブ、生演奏
嫌いなこと：
スーパーのビニール袋、おはし
うりずんでんなどころ? :
皆んな笑顔で皆んな優しいところ。楽しくって帰りたくなるところ。



メッセージ：
手を指し出したら、それは「こんにちは」のあいさつ。そして「OK!」の返事です。耳をふさいだら「NO」もしくは「恥ずかしい…」もポーズです。皆さん、仲よくしてね。よろしくお願いします。

日中一時支援事業

●平成30年1月～3月のご利用状況 (人)

1月	2月	3月	合計
78	81	97	256

* いずれも延べご利用人数です

●現在の登録状況……… 52名 (3月31日現在)

居宅介護事業

●現在の登録状況……… 18名 (3月31日現在)

移動支援事業

●現在の登録状況……… 13名 (3月31日現在)

児童発達支援・放課後等デイサービス事業

●平成30年1月～3月のご利用状況 (人)

	1月	2月	3月	合計
児童発達支援	63	70	76	209
放課後等デイサービス	28	41	40	109

* いずれも延べご利用人数です

●現在の登録状況 (3月31日現在)

* 児童発達支援 …………… 11名
* 放課後等デイサービス …………… 17名

居宅訪問型保育事業

●平成30年1月～3月のご利用状況 (人)

1月	2月	3月	合計
16	17	21	54

* いずれも延べご利用人数です

●現在の登録状況 1名 (3月31日現在)

見学・ボランティア等ご来所者数

●平成30年1月～3月のご来所状況 (人)

	1月	2月	3月	合計
見学者	35	49	75	159
ボランティア	17	25	24	66
計	52	74	99	225

* 詳細につきましては、認定NPO法人うりずんHP「事業所案内 活動報告」をご参照ください。

第22回 在宅ケアネットワーク栃木 2月11日開催

テーマ『親を看取る、自宅で看取る、平穏死で逝く在宅医療』

『親を看取る、自宅で看取る、平穏死で逝く在宅医療』をテーマに、2018年2月11日(日祝)自治医科大学地域医療情報研修センターにおいて、第22回在宅ケアネットワーク栃木の総会・シンポジウムが開催されました。

医師として、また実際に大切なお父様を看取られた家族の立場から、趙達来様によるオープニングメッセージの後、横山孝子様より「泣き笑いの訪問看護ステーション経営について」と題し、那須烏山市で初めての訪問看護ステーション立ち上げから現在に至るまでのチャレンジの数々について、基調講演をいただきました。

午後は『いのちに囲まれて生きていく～いのちの響きをあなたに送る』と題し、山梨県で在宅ホスピスをされている内藤いづみ様による特別講演、講演とコラボレーションする形式で古屋かおり様によるピアノ演奏がありました。優しく、そして力強いピアノの音色とともに、「いのちに囲まれ、いのちと向き合って生きていく」その奥深さが心に響いた一日でした。(田中恭子)

今回は、宇都宮市江曾島、アピタ南側にある「たん・ぷる・たん」というお店を紹介します。

お店に入ると、美味しそうなお菓子、ショーケースの中には、丁寧に作られたケーキの数々が並べられていて、あたたかくて幸せな気持ちになる「たん・ぷる・たん」。テイクアウトはもちろん、店内でのランチタイムにお食事も提供しています。季節の食材を取り入れた季節限定スイーツも大人気。わたしの大好きなお店です。



陽南ロール



口に入れた瞬間、さくらの香りが広がり、なめらかな口あたりの生地とやさしい甘さの生クリームとともに、さくら餡が練り込んであり、これがまた絶妙な組み合わせ♡



▲キャラクターケーキ

また、キャラクターケーキも人気で、人気のキャラクターから流行りの芸人まで幅広いものが注文可能です。(店内にはキャラクターケーキの写真もあります。) こちらもオススメです! (大久保佳澄)

長く愛されている「陽南ロール」は、バニラ、チョコの他、季節限定のさくらがあります。

栃木県宇都宮市江曾島 3-2584-27 TEL: 028-658-4825

■営業時間: 10:00 ~ 19:00 ※休業日前日に限り 18:00 閉店になります。

■定休日: 月曜日 季節休暇あり ※定休日が祝日の場合は営業・祝日営業の場合は翌日休み

うつろい

KOMAY

あの日に止まった二人の時間はもう動かない、はずなのに

ふとした時に気にしてしまう返事が来ないメールボックス

鳴ることのないベルを待つだけの時刻のみがただ過ぎていく日々

もしもあの時、なんて無意味な後悔ばかり…

情けないなと嘲る僕を
頭上の桜は風に揺れながら
見守るように咲いているだけ

スタッフ募集

うりずんでは、職員(常勤・非常勤)を募集しています!

<募集職種>

看護師・介護福祉士・ヘルパー・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・保育士・相談支援専門員等。(相談支援専門員は障がい支援分野での相談支援業務経験者のみ)

障がい福祉分野を経験された方やこれから経験したい方で、うりずんの事業に関心のある方、新事業立ち上げに興味のある方…是非うりずんで一緒に働きませんか!



子ども達の笑顔に癒される毎日です! 私たちと一緒に笑顔いっぱいのおうりずんを作りませんか?

医療的ケアが必要な子どものレスパイトケア、ホームヘルプ、児童発達支援、放課後等デイサービス、訪問看護など。詳細はうりずんまでお問い合わせください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

ボランティアも大募集しています!

NPO法人うりずんでは通信発行をご支援くださる協賛企業様を随時募集しております。

「うりずん通信・テレマカシー」は年4回の発行となります。一回の発行費用に、印刷・郵送料などで15万円ほど必要となります。そこで、広告代として通信発行を支援していただける協賛企業様を一口1万円で募集いたします。

次号掲載のご希望の方は6月中旬までにNPO法人うりずんまでご連絡ください。皆様方のご協賛・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

協賛企業様

あなたのキャリアにエールを



KEEPCARRIÈRE
キープキャリアエール

連絡先 ☎ 028-601-7733 (日・祝祭日はお休みです)

NPO法人うりずん寄付者名簿 (敬称略)

平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 (到着分)

ご寄付 1,943,510 円をいただきました。ご支援ありがとうございました。

■一般寄付者 延べ 89 名 (うち匿名希望 11 名)

栃木県 宇都宮市 青木 秀子 秋野 毅 新井 裕子 市瀬 俊子 入江 政子 宇都宮中央ライオンズクラブ 大房 寿男 宇都宮聖公会北関東学園 愛敬幼稚園 金子 徳代 (株)ハーモニー 黒崎由美子 駒場 哲子 塩澤 達俊	宇都宮市 下泉 秀夫 助名 善夫 鈴木 勇二 五月女浩之 大門 亘 高村カツ子 田村 雅子 田村 嘉應 床井 忠夫 奈良久二工 波木 章子 日光総業(株) 野呂 和子 林 紀尚	宇都宮市 御子貝荒江 那須塩原市 齋藤 茂子 鹿沼市 下妻 和彦 日光市 大久保 隆 加藤 浩治 齋藤 睦子 手塚由里子 沼尾 泰子 泉福寺 長谷川興賢 山口健太郎 山崎 久子 さくら市 須田 敦子 矢板市 藤本 早 大田原市 渡邊 学	那須塩原市 齋藤 茂子 高根澤 孝 那須烏山市 加瀬 元彦 真岡市 (医)創生会 興岡西クリニク 趙 達来 下野市 小黒 範子 小島 好子 本間 洋子 栃木市 栗山 宏 足利市 尾澤 嘉孝 塩谷町 小野崎千鶴子 那須町 竹原 典子 市貝町 國井 義慧	益子町 原 薫 北海道 印西市 印西ウイングビルチャペル 札幌市 土沢 史乃 茨城県 土浦市 谷島 直子 群馬県 前橋市 吉野 浩之 埼玉県 上尾市 勝地 京子 川口市 齋藤 喜作 本庄市 坂本喜久枝 和光市 浅野 政子	千葉県 印西市 清水 勝利 江戸川区 杉並区 磯崎 慶 港区 酒井三貴子 稲森絵美子 世田谷区 上原 靖之 大梶 潮 文京区 尾崎 雄 練馬区 櫻林郁之介 八王子市 小沢 浩	神奈川県 横浜市 志保田俊男 永田 幸雄 川崎市 小竿 順子 横須賀市 (尚)七口薬局 長野県 小布施町 石井栄三郎 福井県 永平寺町 田邊みちよ 岐阜県 岐南町 今枝みどり 土屋 邦洋 大阪府 大阪市 吉川かおり	池田市 高橋 昭夫 大東市 清田 悠代 眞利 慎也 滋賀県 米原市 小椋 一司 奈良県 桜井市 上山 三幸 福岡県 久留米市 バンビーノ福祉会 中原 京子
---	---	---	---	--	---	---	--

■個人賛助会員 (総数 884 名) 中、60 名の方が入会・更新くださいました (うち匿名 7 名)

栃木県 宇都宮市 青木 秀子 新井 裕子 生野 裕子 大房 寿男 倉橋さゆみ 坂本 士郎 塩澤 達俊 倭文 一彦 下泉 秀夫	宇都宮市 助名 善夫 床井 忠夫 鹿沼市 金子 亜子 倉松 俊弘 下妻 和彦 日光市 川味 亓宏 大橋 康宏 齋藤 睦子 手塚由里子 橋本 誠	日光市 山崎 久子 さくら市 加藤 朋子 那須塩原市 樽林 行雄 下野市 小黒 範子 篠崎 岳彦 本間 洋子 小山市 青野 浩子 早川美奈子 佐野 光司 塩谷町 小野崎千鶴子	市貝町 國井 義慧 岩手県 盛岡市 首野 寿枝 茨城県 古河市 渡辺 壮一 土浦市 谷島 直子 牛久市 阪口 志帆 群馬県 前橋市 吉野 浩之 太田市 時澤 桂子	埼玉県 越谷市 豊田三枝子 さいたま市 岡島 美朗 千葉県 松戸市 橋本めぐみ 東京都 江戸川区 清水 勝利 杉並区 磯崎 慶 墨田区 前田 浩利	神奈川県 川崎市 小竿 順子 吉原由美子 横浜市 志保田俊男 長野県 松本市 宮島 有果 小布施町 石井栄三郎 福井県 永平寺町 田邊みちよ	岐阜県 岐南町 土屋 邦洋 滋賀県 大津市 小谷 彌生 鈴木 順子 宮崎県 宮崎市 市原 美穂 長崎県 時津町 下村千枝子	三重県 伊勢市 奥野 正孝 桑名市 平田 敦子
---	--	--	---	---	---	---	----------------------------

■団体賛助会員 (総数 113 団体) 中、13 団体 (匿名 1 団体) が入会・更新くださいました。

栃木県 宇都宮市 お食事処うおえい おざわ小児科医院	(株)ハーモニー (株)美月塗装 栃木トヨタ整備(株) (尚)アサヒ冷熱	鹿沼市 (株)北村金物 那須塩原市 さいとうクリニック	(株)TMC 経営支援センター 千葉県 印西市 イース・リスト・コミュニティ協会 印西ウイングビル	大阪府 堺市 かがやきクリニック
-------------------------------------	---	--------------------------------------	--	------------------------

※赤い羽根おうえんプロジェクト・スノーズレン購入募金へのご協力ありがとうございました。次号にてご報告させていただきます。

ご支援のお願い

重症障がい児者と家族への支援は緊急を要します。しかし行政の財政補助等は限られており、うりずんが支援活動を続けていくためには、皆様からのご支援がほんとうに必要です。今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。

○賛助会員のお申し込みの場合
個人年会費 (3,000 円)
団体年会費 (10,000 円) のどちらかを選択してください

【各種振込先のご案内】
振込みは、ゆうちょ銀行の専用口座へお願いします。
(誠に恐縮ですが、手数料は別途ご負担をお願い申し上げます)

<ゆうちょ銀行からのお振込み>
口座番号: 00110-4-441471
口座名: 特定非営利活動法人うりずん

<ゆうちょ銀行以外からのお振込み>
〇一九店(ゼロイチキュー店) 当座: 0441471
【オンライン寄付】
うりずんのホームページ (<http://www.npourizn.org/>) からのご寄付と賛助会員のオンライン決済ができます。(ビザかマスターカードに限りません)
【寄付金額の最大 50%が税金から戻ってきます!】
「うりずん」は「認定NPO法人」のため、うりずんへの寄付と賛助会費には確定申告の際、税制上の優遇措置が受けられます。(手続きについては、最寄の税務署等にお問合せください)

ご寄贈いただきました。



阿部知子様より絵本とおもちゃ
宇賀神杏美様より紙おむつ

多くの方々から寄贈品をいただきました。
ご支援いただきました皆様にご心より御礼申し上げます。



山岸志恵子様より
お人形とオセロゲーム

ご寄贈のお願い

皆様のお手元にお譲りいただけるものがございましたら、ご寄贈いただけますと活動に広がりが出ます。よろしくお願いたします。

* 遊びや活動で使用できる物品 *
例: クッション積み木・室内用遊具・プラレール

ご寄贈いただける方はうりずんまでご連絡ください。尚、ご連絡が多い場合、収納スペースの関係ですべてのものを受け取ることができない可能性がありますことも、予めご了承くださいませと幸いです。

※紙面の都合により、すべての寄贈品を掲載できず、申し訳ございません。

2月3日・4日

喀痰吸引等第三号研修を開催

受講生に説明する鈴木恵様



栃木県より喀痰吸引等第三号研修の登録養成機関の認定を受け、2018年2月3日(土)4日(日)に福祉事業所に従事する介護職4名と福祉事業所および保育園の保育士6名の計10名の参加により、研修を開催いたしました。

講師は、うりずんと親交の深い沖縄の事業所「Kukuru(くるる)」の代表で全国的に喀痰吸引等第三号研修を開催されている鈴木恵様をお迎えし、Kukuruの活動紹介や事例紹介から子どもと家族のニーズとその支援についての貴重な御講義をいただきました。

午後の演習では、医療的ケアの胃ろうや経鼻からの経管栄養法と口鼻気管カニューレ内への喀痰吸引法のデモンストレーションを行い、受講生は緊張しながらも真剣な表情で取り組まれていました。2日間の基礎研修後の筆記テストは見事、全員合格されました。

今後、実地研修を経て安全で安楽なケアができる介護職や保育士の方がおひとりでも増え、地域で支え合う支援の輪がもっと広がりますよう研修を続けてまいります。

今後の開催については随時ご案内いたしますので、多くのご参加をお待ちしております。

研修開催に際し、ご支援賜りました日本財団様に感謝申し上げます。

(原真理子)



演習ではモデルの人形を使っての手技に真剣に取り組まれました



講義に熱心に聞き入る受講者の皆様

ニューフェイス 日産キャラバン 納車!! (日本財団様より福祉車両購入助成)



ますますお出かけが楽しみです♪

各地で桜の便りが聞かれる3月23日(金)うりずんにニューフェイスが到着しました!!

アラウンドビューモニターや安全ブレーキはもちろん、呼吸器等で使用する電源設備や注入用のフックもついてお出かけが楽しみです。24日には早速、みんなでこども科学館へ出かけました。(我妻英司)



贈呈式にみんなで参列しました



▲充実した装備にわくわく

●● 新しいスタッフの紹介 ●●



金子 洋子

♥ はじめまして。4月2日より、うりずんの仲間に加えていただきました、金子洋子(かねこ ようこ)です。以前は特別支援学校に勤務していました。ご利用者様、ご家族の皆様と共に、楽しい時間を過ごしていきたいと思ひます。

あこがれは、アンパンマンに出てくる裁縫と料理やお菓子作りが得意でパイキンマンにも優しい「バタコさん」です。どうぞよろしくお願いいたします。



福田 恭子

♥ 4月より、うりずんで働かせていただいております、福田恭子(ふくだ きょうこ)と申します。今まで、保育や学童の指導員等を経験してきました。

子ども一人ひとりの色々な表情や思いに気づき、寄り添いながら一緒に楽しく成長したいと思ひます。至らない点が多々あるかと思ひますが、何卒よろしくお願いいたします。

うりずんを飛び出して!!

写真&作品展 ~えがおがいっぱい~ 開催決定

日時 2018年7月6日(金)~8日(日)

会場 宇都宮南図書館ギャラリー (宇都宮市雀宮町56-1)

写真展は昨年11月の宇都宮大学での写真展で展示した廣田比呂子様の写真をはじめ、うりずんの日々の写真を展示いたします。ご利用者の皆様のおさらした笑顔をご覧いただければと思います。また同時に、各事業の活動で利用者の皆様が作成した作品もご紹介いたします。(三谷知子)

編集後記



お陰様で新拠点に移転して3年目の春を迎えたいと皆さまへ。新年慶を迎え、新しい場所がスタートに皆様のお会いの別々の春、心に染み入る時が来るとは、満開の季節に私心を癒す思いでございまして。今までの出会い、新しい出会いに感謝しながら、お会いの多い日々をご利用者の皆様と共に過ごしてまいります。天候不慮



うりずん通信・テレマカー

第 25 号 2018年4月20日発行

http://www.npourizn.org/

《編集・発行》 認定特定非営利活動法人 うりずん 〒321-2116 栃木県宇都宮市徳次郎町365-1 TEL: 028-601-7733(代) FAX: 028-665-7744(代) Mail: urizn@hibari-clinic.com

《デザイン・印刷》 デザインスタジオ アクセス